

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 ユニコムグループホールディングス株式会社
 コード番号 8744 URL <http://group.unicom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二家 英彰
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 酒井 清行
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-5623-5027

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,707	—	△314	—	△166	—	△190	—
20年3月期第1四半期	3,456	11.9	237	188.9	369	△1.0	177	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△15.86	—
20年3月期第1四半期	14.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	91,576	17,484	17.5	1,338.46
20年3月期	88,195	18,291	18.6	1,367.69

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 16,050百万円 20年3月期 16,401百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	20.00	20.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

当社グループの業績は、商品市況、株式市況、為替相場の動向により大きく影響を受ける傾向があり、業績を適正に予想することが困難であるため、当社グループは業績予想の開示を控えさせていただきます。中間及び本決算の業績速報値を、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 一社(社名) 除外 1社(社名 Global Master Advisors Inc.)
 (注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	12,920,340株	20年3月期	12,920,340株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	928,320株	20年3月期	928,320株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	11,992,020株	20年3月期第1四半期	11,992,020株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社グループでは業績予想の開示を控えさせていただきますので、平成21年3月期の配当につきましても開示を控えさせていただきます。取締役会において決議をとり次第、開示を行ってまいります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

3. 平成20年8月13日付プレスリリース「平成20年3月期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」でお知らせしておりますとおり、当社の平成20年3月期の決算短信及び有価証券報告書は今月中に一部訂正し開示する予定でございます。本第1四半期決算短信における前期末の実績値につきましては訂正前の数値を使用しておりますので、上記の訂正に併せて、本第1四半期決算短信における所要の箇所につきましても訂正して開示する予定です。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における当社グループの経営成績は、商品先物取引、証券取引、外国為替証拠金取引の各部門が減収となったことにより、全体の営業収益は前年同期実績を下回ることとなりました。

各事業部門別の業績の概況は以下のとおりです。

①商品先物取引業

当第1四半期連結会計期間における国内商品先物市場は、主要な穀物、貴金属、石油の各市場においては世界的な需給ひっ迫により強含みで推移しましたが、流動性の低下により個人投資家の取引が手控えられた結果、全体の出来高は前年同期比28.4%減の12,776千枚となりました。

当社グループの委託売買高は、穀物市場においては上記市況の影響を受けて前年同期比60.5%減となりましたが、対面取引部門において携帯電話によるリアルタイム情報提供サービス「P-フラッシュ」の利用促進、並びにオンライン取引部門において新規口座開設促進キャンペーンの実施による売買促進を図ったことにより、貴金属市場においては前年同期比29.3%増、石油市場が同16.8%増となりました。

この結果、当社グループ全体の商品委託売買高は1,001千枚と同21.1%減となり、商品先物委託手数料収入は1,075百万円（前年同期比17.1%減）となりました。商品自己売買損益につきましても、△3百万円（前年同期は49百万円）となり、当第1四半期連結会計期間の商品先物取引業収益は1,072百万円（前年同期比20.4%減）となっております。

②金融商品取引業（証券業）

当第1四半期連結会計期間における国内株式市場は、米国において大手金融機関への救済策が示され、サブプライムローン問題による金融不安が一時的に緩和されたことから強含みで推移したものの、原油価格高騰によるインフレ懸念と景気後退懸念から後に下落する動きとなり、6月末の日経平均株価は13,400円台まで下落しました。

当社グループの証券業は、上記株式市況の影響を受けて個人委託者による取引が低調となったことから、当社グループ全体の株式委託売買高が前年同期に比べて減少し、証券委託手数料は856百万円（同30.3%減）となりました。また、証券自己売買損益は60百万円（同12.6%減）、金融収益は43百万円（同48.1%減）となり、当連結会計年度の証券業収益は960百万円（同30.5%減）となりました。

③金融商品取引業（外国為替証拠金取引）

当第1四半期連結会計期間における外国為替市場は、主要な通貨である米ドル、ユーロ、豪ドルに対して円安に推移しましたが、世界的な金融不安が払拭されないことから、個人投資家の売買は積極的に行われませんでした。

当社グループの外国為替証拠金取引は、レバレッジ倍率の高いスペシャルレバレッジコースの導入や新規口座開設キャンペーンの展開により口座数および預り資産は増加しましたが、上記市況の影響を受けたことにより、当第1四半期連結会計期間の通貨取引関連収益は527百万円（同18.8%減）となりました。

以上の各事業部門の業績を受け、当第1四半期連結会計期間における当社グループの経営成績は営業収益2,707百万円（前年同期比21.7%減）となりました。また、営業利益は△314百万円（前年同期は237百万円）、経常利益は△166百万円（前年同期は369百万円）、第1四半期純利益は△190百万円（前年同期は177百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は91,576百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,381百万円の増加となりました。これは主に、差入保証金が2,084百万円増加したことや、金銭の信託が1,223百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の状況）

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は74,091百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,188百万円の増加となりました。これは主に、信用取引負債が2,131百万円増加したことや、預り金が1,673百万円増加したこと、預り証拠金が659百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部では、株主資本と評価・換算差額等の合計が16,050百万円となり、前連結会計年度末と比べて350百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払額が239百万円あったことによるものであります。また、アイディーオー証券株式会社に対する当社の株式持分比率の増加により少数株主持分は456百万円の減少となり、純資産合計は17,484百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は6,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,861百万円の減少となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間中における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、438百万円の支出（前第1四半期連結会計期間は1,351百万円の収入）となりました。これは主に、信用取引負債の増加額2,131百万円による資金の増加があった一方で、差入保証金の増加額2,073百万円、委託者未収金の増加額477百万円による資金の減少があったこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、284百万円の支出（前第1四半期連結会計期間は1,947百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得に伴い185百万円の支出があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1,156百万円の支出（前第1四半期連結会計期間は514百万円の支出）となりました。これは、借入金の返済による支出が550百万円、当社による配当金の支払額が239百万円、少数株主への配当金の支払額が366百万円あったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、商品市況、株式市況、為替相場の動向により大きく影響を受ける傾向があり、業績を適正に予想することが困難であるため、当社グループは業績予想の開示を控えさせていただき、中間及び本決算の業績速報値を、決算数値が確定したと考えられる時点で速やかに開示してまいり所存であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

除外 1社 （社名 Global Master Advisors Inc.）

前期において連結子会社であったGlobal Master Advisors Inc.は 当第1四半期連結会計期間において清算会社となり、子会社に該当しなくなったため、連結対象から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結財務諸表の作成に関する事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 平成20年3月期の決算訂正の影響について

平成20年8月13日付プレスリリース「平成20年3月期決算短信の一部訂正に関するお知らせ」でお知らせしておりますとおり、当社の平成20年3月期の決算短信及び有価証券報告書は今月中に一部訂正し開示する予定でございます。

本第1四半期決算短信における前期末の実績値につきましては訂正前の数値を使用しておりますので、上記の訂正に併せまして、本第1四半期決算短信における所要の箇所につきましても訂正して開示する予定です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,548,929	15,839,495
委託者未収金	807,827	299,076
有価証券	37,344	34,848
保管有価証券	8,043,530	7,253,637
金銭の信託	18,287,874	17,064,016
信用取引資産	16,309,619	16,355,572
信用取引貸付金	14,561,794	14,051,346
信用取引借証券担保金	1,747,824	2,304,226
差入保証金	18,744,679	16,660,007
委託者先物取引差金	3,136,156	3,166,420
未収入金	468,916	220,291
繰延税金資産	547,413	525,809
その他	2,157,331	1,172,516
貸倒引当金	△271,354	△208,628
流動資産合計	81,818,267	78,383,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,792,007	3,148,773
減価償却累計額及び減損損失累計額	△907,088	△1,233,601
建物及び構築物(純額)	1,884,918	1,915,171
土地	2,138,006	2,138,006
その他	2,468,183	2,730,994
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,672,269	△1,635,079
その他(純額)	795,914	1,095,914
有形固定資産合計	4,818,838	5,149,092
無形固定資産		
ソフトウェア	1,060,645	654,489
無形固定資産合計	1,060,645	654,489
投資その他の資産		
投資有価証券	1,410,574	1,426,559
出資金	299,743	299,743
繰延税金資産	226,205	321,858
その他	3,210,714	3,183,463
貸倒引当金	△1,268,219	△1,223,091
投資その他の資産合計	3,879,018	4,008,533
固定資産合計	9,758,503	9,812,115
資産合計	91,576,771	88,195,180

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	13,629,847	11,498,356
信用取引借入金	11,017,252	8,739,214
信用取引貸証券受入金	2,612,594	2,759,141
短期借入金	3,997,194	4,206,007
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	50,805	112,166
賞与引当金	35,641	140,762
預り証拠金	15,211,725	14,552,417
預り証拠金代用有価証券	7,909,580	7,141,592
外国為替取引預り証拠金	6,390,922	5,872,686
外国為替取引預り証拠金代用有価証券	133,949	112,045
預り金	13,287,803	11,613,914
受入保証金	6,541,992	6,979,453
その他	1,130,135	1,550,019
流動負債合計	68,439,597	63,899,421
固定負債		
長期借入金	1,705,000	1,735,000
繰延税金負債	128,030	118,708
退職給付引当金	947,702	940,300
役員退職慰労引当金	429,890	429,890
負ののれん	1,468,385	1,522,111
その他	242,610	254,858
固定負債合計	4,921,619	5,000,868
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	447,578	401,069
金融商品取引責任準備金	283,192	—
証券取引責任準備金	—	602,560
特別法上の準備金合計	730,770	1,003,629
負債合計	74,091,987	69,903,919

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,753,500	2,753,500
資本剰余金	1,954,522	1,954,522
利益剰余金	12,766,461	13,134,889
自己株式	△1,408,726	△1,408,726
株主資本合計	16,065,757	16,434,184
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,696	△11,145
為替換算調整勘定	△18,645	△21,618
評価・換算差額等合計	△14,949	△32,764
新株予約権	3,263	2,373
少数株主持分	1,430,711	1,887,467
純資産合計	17,484,783	18,291,261
負債純資産合計	91,576,771	88,195,180

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収益	
受取手数料	1,931,731
売買損益	136,526
通貨取引関連収益	527,527
その他	111,618
営業収益合計	2,707,403
営業費用	3,021,722
営業損失(△)	△314,318
営業外収益	
受取配当金	59,365
為替差益	41,277
負ののれん償却額	53,725
その他	28,072
営業外収益合計	182,442
営業外費用	
支払利息	30,720
その他	3,503
営業外費用合計	34,223
経常損失(△)	△166,099
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	319,367
持分変動利益	35,391
その他	4,563
特別利益合計	359,323
特別損失	
投資有価証券評価損	119,990
固定資産除売却損	18,613
商品取引責任準備金繰入額	46,509
特別損失合計	185,112
税金等調整前四半期純利益	8,110
法人税、住民税及び事業税	22,550
法人税等調整額	143,506
法人税等合計	166,056
少数株主利益	32,275
四半期純損失(△)	△190,221

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,110
減価償却費	139,366
株式報酬費用	889
負ののれん償却額	△53,725
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△72,146
受取利息及び受取配当金	△162,874
支払利息	345,591
持分変動損益 (△は益)	△35,391
為替差損益 (△は益)	△30,363
持分法による投資損益 (△は益)	△890
投資有価証券評価損益 (△は益)	119,990
固定資産除却損	13,288
商品取引責任準備預金の増減額 (△は増加)	△39,365
外国為替取引分別保管預金の増減額 (△は増加)	775,697
商品取引責任準備金の増減額 (△は減少)	46,509
委託者未収金の増減額 (△は増加)	△477,045
委託者先物取引差金(借方)の増減額 (△は増加)	30,264
為替予約資産の増減額 (△は増加)	△76,619
差入保証金の増減額 (△は増加)	△2,073,571
信用取引資産の増減額 (△は増加)	45,953
信用取引負債の増減額 (△は減少)	2,131,491
未収入金の増減額 (△は増加)	△431,137
未収収益の増減額 (△は増加)	11,851
預り証拠金の増減額 (△は減少)	656,267
外国為替取引預り証拠金の増減額 (△は減少)	518,235
未払金の増減額 (△は減少)	△397,744
預り金の増減額 (△は減少)	1,140,900
受入保証金の増減額 (△は減少)	△437,461
その他	△1,875,112
小計	△179,043
利息及び配当金の受取額	179,059
利息の支払額	△357,539
法人税等の支払額	△84,311
法人税等の還付額	2,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	△438,846

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	4,000
金銭の信託の解約による収入	5,141
有形及び無形固定資産の取得による支出	△185,068
有形固定資産の売却による収入	4,108
投資有価証券の売却及び償還による収入	928
貸付の回収による収入	394
その他	△113,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△520,000
長期借入金の返済による支出	△30,000
親会社による配当金の支払額	△239,840
少数株主への配当金の支払額	△366,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,156,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,846,864
現金及び現金同等物の期首残高	8,531,973
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△14,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,670,552

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

当社グループは「投資・金融サービス業」として単一セグメントにて事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの営業収益の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外営業収益が、連結営業収益の10%未満のため、海外営業収益の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 営業収益	3,456,530
II 営業費用	3,218,701
営業利益	237,828
III 営業外収益	192,176
IV 営業外費用	60,962
経常利益	369,042
V 特別利益	7,576
VI 特別損失	76,168
税金等調整前四半期純利益	300,450
法人税、住民税及び事業税	115,114
少数株主利益	7,337
第1四半期純利益	177,998

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	300,450
減価償却費	132,171
負ののれんの償却額	△56,358
貸倒引当金の増減額(減少:△)	81,178
受取利息及び受取配当金	△246,014
支払利息	116,917
為替差損益	△34,953
持分法による投資損益	△984
匿名組合収益	△3,702
固定資産除売却損	34,432
投資有価証券評価損	8,959
商品取引責任準備預金の増減額(増加:△)	△18,382
通貨証拠金取引分別保管預金の増減額(△)	965,737
委託者未収金の増減額(増加:△)	46,933
信用取引資産の増減額(増加:△)	2,380,106
差入保証金の増減額(増加:△)	△119,312
委託者先物取引差金の増減額(増加:△)	△52,853
為替予約資産の増減額(増加:△)	17,938
未収入金の増減額(増加:△)	444,656
未収収益の増減額(増加:△)	33,863
信用取引負債の増減額(減少:△)	△2,788,058
預り証拠金の増減額(減少:△)	374,565
外国為替取引預り証拠金の増減額(減少:△)	△799,067
未払金の増減額(減少:△)	△358,732
預り金の増減額(減少:△)	1,865,619
受入保証金の増減額(減少:△)	△896,196
その他	139,592
小計	1,568,506
利息及び配当金の受取額	224,617
利息の支払額	△130,238
法人税等の支払額	△311,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,351,086

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
預入期間が3ヶ月を超える定期預金の純増減額	△6,000
金銭の信託の純増減額 (増加: △)	△1,095,890
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△696,133
有形固定資産の売却による収入	12,516
投資有価証券の取得による支出	△60,000
投資有価証券の償還・売却による収入	14,490
貸付金の回収による収入	524
その他	△117,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,947,631
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△30,000
親会社による配当金の支払額	△479,680
少数株主に対する配当金の支払額	△4,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,258
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	34,859
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△1,075,943
VI 現金及び現金同等物の期首残高	9,061,272
VII 決算期の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△23,947
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	7,961,381